令和6年度茅ヶ崎市社会教育委員の会議臨時会 会議録

議題	(1) 議長、副議長の選出について (2) 諮問（地域学校協働活動の推進）について (3) 答申作成について (4) その他
日時	令和6年10月21日（月） 10:00～11:30
場所	茅ヶ崎市役所分庁舎5階 特別会議室
出席者氏名	(委員) 議長：吉原 弘子 副議長：宮下 孝義 徳永 翔、青木 千賀子、加藤 盛朗、沼上 純子、 深井 孝一、城田 禎行、山本 珠美 (欠席委員) 山下 理恵 (事務局) 松岡教育推進部長 〔社会教育課〕伊勢田課長、内海課長補佐、木村主任、 栗原（会計年度任用職員）
会議資料	・ 次第 ・ 茅ヶ崎市社会教育委員名簿 ・ 資料1 答申作成スケジュール（案） ・ 参考資料 茅ヶ崎市社会教育委員条例・規則 ・ 補足資料 地域学校協働活動の推進について
会議の公開・非公開	公開
非公開の理由	
傍聴者数	0人

（会議の記録）

○伊勢田社会教育課長

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。

それでは、ただ今から令和6年度社会教育委員の会議臨時会を開催いたします。

本日は、委員の皆様の改選後初めての会議となりますので、会議開催に先立ち、出席職員を紹介いたします。

（職員紹介）

○伊勢田社会教育課長

なお本日、山下理恵委員については欠席のご連絡をいただいております。

会議開催に先立ちまして、配布させていただきました資料の確認をさせていただきます。

(事務局より配布資料の説明)

○伊勢田社会教育課長

議事につきましては、茅ヶ崎市社会教育委員会議規則第2条に基づき、議長が会議を主宰することとしております。議長選出までの間は私が進行させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

社会教育委員の定数は10人となりますが、本日は過半数の出席をいただいておりますので、茅ヶ崎市社会教育委員会議規則第4条の規定により会議は成立していることを報告させていただきます。

それでは議題に入る前に、本日が初めてのお顔合わせになりますので、委員の皆様の紹介をさせていただきます。

この会議の委員構成につきましては、茅ヶ崎市社会教育委員条例第2条で規定されておりまして、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験を有するものとなっております。

これよりお名前を申し上げますので、恐れ入りますが、おひとりずつ自己紹介をお願いしたいと思います。

(各委員より自己紹介)

○伊勢田社会教育課長

ありがとうございました。それでは、議題に入ります。

議題1「議長、副議長の選出について」です。

茅ヶ崎市社会教育委員会議規則第2条におきまして、会議運営のため、委員の互選により、議長1人、副議長1人を置くこととしております。

議長の役割としましては、本会議を主宰するほか、「青少年問題協議会」や「いじめ問題対策連絡協議会」等の他課の審議会や、「神奈川県社会教育委員連絡協議会」、また今年度から来年度については「令和7年度関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会」など各会議の委員として御出席いただく予定があります。

皆様より御意見等がございましたらお願いいたします。

○沼上委員

議長には、学識経験豊かで、今まで継続的に様々なところに参加して私たちに情報を発信してくださっている吉原弘子委員を推薦したいと思います。

○伊勢田社会教育課長

ありがとうございます。他の皆様、いかがでしょうか。

では、議長について、御推薦いただきました吉原委員ということで、皆様御同意ということでもよろしいでしょうか。

(一同同意)

ありがとうございます。では、吉原委員に議長をお願いさせていただきます。次に、副議長について協議をお願いいたします。

○沼上委員

本会議では、かねてより地域学校協働活動やコミュニティ・スクールのことが調査研究テーマとなっております。学校関係で小学校から宮下委員がいらしているので、副議長については、宮下委員に是非お願いしたいと思います。

○伊勢田社会教育課長

御意見ありがとうございます。ただ今副議長に宮下委員の御推薦がありましたが、他の皆様、いかがでしょうか。

(一同同意)

○伊勢田社会教育課長

では、副議長につきましては、小学校長会から推薦いただいております、宮下委員にお願いをさせていただきたいと思います。

それでは、議長、副議長が決まりましたので、ここからの議事進行は吉原議長にお願いをさせていただきます。お手数ですが、議長、副議長席にお移りください。

では、吉原議長、よろしくお願いいたします。

○吉原議長

皆様、改めましてこんにちは。ただ今議長に御承認いただきました吉原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今期の議長ということで、先ほど事務局の方から話があったように、来年11月に横浜で、神奈川県社会教育委員連絡協議会が主催する「令和7年度関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会」が開催される予定です。まだ皆さんにお伝えすることがあまりないのですが、茅ヶ崎市は各部会の中の総務部会に所属をさせていただき、会議が進んでおります。

また、当日は皆さんにも御参加いただくことや、何らかのお手伝いをお願いすることが

あるかと思えます。横浜で行われますので、是非楽しんで参加していただいて、今後活動の糧になるようなことがあろうかと思えますので、よろしくお願いします。

また、今回新しい委員の方もいらっしゃいますので、新鮮な意見と、色々培ってこられたものを頂戴しながらこの会議を進めていきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○宮下副議長

副議長を拝命いたしました宮下と申します。この会議で必要とされることに少しでも協力できればと思えます。よろしくお願いいたします。

○吉原議長

それでは、会議を進めてまいりたいと思えます。議題に入る前に確認がございます。会議録については、事務局にて案を作成し、各委員に確認いただいたうえで決定し、公開となります。

それでは、議題2「諮問（地域学校協働活動の推進）について」です。教育長より本会議への諮問があるということです。松岡教育推進部長よりお願いいたします。

○松岡教育推進部長

それでは、教育長に代わり私から諮問書を代読させていただきます。

（諮問文書の読み上げ）

○吉原委員

ありがとうございました。ただ今諮問をいただきました。本会議で調査研究を行い、実際に茅ヶ崎市として地域学校協働活動をどのような形で推進していくのか、前期の研究をもとにしっかり議論を行いたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。議題2については以上でございます。

では次に、議題3「答申作成について」です。はじめに、調査研究テーマの概要について事務局より説明をお願いします。

○事務局

（事務局より「補足資料 地域学校協働活動の推進について」について説明）

○吉原議長

ありがとうございました。ただ今説明いただいたところで、何か質問等がありましたら

挙手お願いいたします。

○山本委員

鎌倉市、厚木市、綾瀬市の事例がとても参考になり、非常に面白く聞かせていただきました。自治体によって進め方は微妙に違いがあるけれども、地域学校協働活動推進員を配置するという点については、少なくともこれらの事例においては一致していて、私も全く同感で、これを配置しなければ意味がないと思っています。

鍵はその推進員を配置できるかどうかというところにかかっており、配置する場合には予算が伴うと思うのですが、予算については聞かれましたか。

○事務局

しっかりと聞いたわけではないので不正確な部分があるかもしれませんが、推進員への活動に対する謝金、消耗品費（綾瀬市は1校1万円）、あとは研修会への参加のための旅費等が予算として必要になることは承知しているところです。また、国の補助金もあるということも認識しております。

○吉原議長

ありがとうございました。他に何か質問等ございますでしょうか。

○深井委員

インターネットで茅ヶ崎市の地域学校協働活動と調べたところ、市民活動サポートセンターが11月10日に学校と地域を豊かにしていくための講演会を企画されているようで、以前に茅ヶ崎市の社会教育委員であった都先生が御講演されるようなのですが、この会議と何かつながりがあるのでしょうか。

○事務局

市民活動サポートセンターの方でそのような事業を企画されているということはお伺いしております。社会教育課にもお誘いをいただいたのですが、日程が合わず参加はしません。

当時、前年度まで社会教育委員もされていた都先生を、学校教育にも社会教育にも精通された方として紹介させていただいた経緯があります。都先生の御講演後、今後の地域学校協働活動の望ましい姿についてディスカッションの場があるとお伺いしております。

市民活動サポートセンターの了解がいただけたら、皆様にその内容等について共有させていただきたいと思います。

○吉原議長

是非よろしくお願いいたします。他に何か質問等ございますでしょうか。

それでは次に、答申作成スケジュール（案）及び起草委員の選出について事務局より説明をお願いします。

○事務局

（事務局より「資料1 答申作成スケジュール（案）」について説明）

○吉原議長

ありがとうございます。ただいま事務局より答申作成スケジュール（案）や起草委員会について説明がありました。

私から一言、前期のことも考えて、本当にこれだけの時間の中で答申をまとめていくことができるのかなということに疑問があります。前回の答申の際には、起草委員がまとめたものを事務局が各委員に配布して、それについてメールなどで様々な意見をいただくという形をとらせていただきましたが、年間で定例会が2回の臨時회가1回というのはなんとかならないものなのかと思います。

予算的なこともあるのは重々承知しておりますが、もう少し会議を、全体で皆さんが集まって協議ができる時間を、もう1・2回増やしていただけることを是非御検討願いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○沼上委員

スケジュール案について意見があります。今回、臨時会といっても実質的には委員が改選し、第1回のようなものなので、できれば6・7月に第1回を開催していただき、10月の会議が実のある話し合いになる形にしたいです。スタートが10月というと、ほかの様々な委員会などと比べても遅いのではないかと思います。

そして、名前が臨時会というのも、少しずれているのではないかなと認識を持ちます。そのあたり、御検討の程よろしく願いいたします。

○吉原議長

いずれにしても、こちらはスケジュールの案ですので、このまま進められるかどうかというのを、流れも見ながらやっていければと思います。

では、先ほどお話が出ました起草委員会についてです。臨時的に委員さんの都合に合わせて会議を開くという形を取っています。5名ぐらいの方にやっていただきたいなと思っておりますので、もし協力してもいいですよという方がいましたら挙手をお願いします。そして、山本委員と副議長の宮下委員、それと吉原はこの5名の中に参加をさせていただきたいと思います。あと2名ほど入っていただけるとありがたいです、いかがでしょうか。

○沼上委員

前回この会議で建議書を作成するにあたっては、私は起草委員にはなっていなかったのですが、今回はコミュニティ・スクールの委員にも継続してなっているので、起草委員会の方で作成にあたって協力していただけたらなと思っております。

○吉原議長

ありがとうございます。まず1名、沼上委員が手を挙げてくださいました。あと1名、いかがでしょうか。

徳永委員は障がいのある子どもが通う学校の代表として会議に御出席くださっておりますが、もしよければいかがでしょうか。

○徳永委員

はい、是非参加させていただきます。

○吉原議長

ありがとうございます。それでは、起訴委員の5名は、山本委員、宮下委員、沼上委員、徳永委員と吉原の5名ということで、よろしく願いいたします。

それでは次に、議題4「その他」に移りたいと思います。先ほど出てきました令和7年度関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について、私の方から、今どのような形で進んでいるのか、皆さんに報告をしたいと思います。

日時に関しては、令和7年11月20日の木曜日と21日の金曜日です。横浜の関内ホールを中心に行われます。1日目は、アトラクション、大会行事、記念講演、それからシンポジウムがあります。2日目は、「持続可能な社会」や「共生社会の実現」など5つの分科会があります。このどこかに私たちが参加したり、お手伝いしたりすることもあると思います。その中で、大会の事務局から、分科会の発表を1つ茅ヶ崎市でやっていただけないかという依頼がありました。市の事務局とも話をし、茅ヶ崎市として今回は無理かなという返事をさせていただこうと思っています。委員の皆様、異論ございませんでしょうか。

(一同同意)

○吉原議長

それでは、今日会議があつて、委員の皆さんの意見を伺いますということで県の事務局にお話ししていますので、事務局の方から県に、茅ヶ崎市としては難しいということで連絡をお願いいたします。

恐らく各団体の方でも、10・11月は様々な行事があるかとは思いますが、何かに行つて1つでもお土産を持って帰れると思いますので、是非予定を取っていただければあり

がたいと思います。よろしく願いいたします。

他に何かございますでしょうか。

○沼上委員

広報紙に文化生涯学習プラン推進委員会の公募が出ています。こちらの委員について、12月頃に委員の改選があります。まだ事務局の方にはその旨連絡は来ていないかと思うのですが、よろしければ先に、この場で決められたらスムーズかと思っております。今回は何かの途中で改選というわけではなく、ちょうどキリよく次の検討が始まるタイミングでの改選となります。

文化生涯学習プランでは、常にインクルーシブな話題がすごく多くありますので、よければ徳永委員を推薦したいのですが、いかがでしょうか。

○徳永委員

私であれば是非参加させていただきます。できれば詳細をお伺いしてもよろしいでしょうか。

○事務局

まだこちらに依頼が来ていないもので、詳細がわからないと今すぐに御判断が難しいかなと思います。今後文書等で会議の開催の趣旨や回数が来ましたら、徳永委員および沼上委員の方に改めて御相談させていただくような形ではいかがでしょうか。

○沼上委員

ありがとうございます。よろしく願いいたします。

○吉原議長

先週の金曜日に青少年問題協議会がございまして、出席をしてきました。今回、子どもの安全を守る都市宣言に関する取組について色々とお話がありました。

皆さん各地域の中で、子どもたちの見守り等、様々な形で、子どもたちには関わっていらっしゃると思います。その中で、社会教育委員として何かをするということはなかなか難しいのですが、各団体の方は一生懸命やっていくなかで、子どもたちにとって、茅ヶ崎はとっても住み良くて楽しいところで、毎日の学校通学が楽しければいいなと私自身も思っています。学校の代表もいらっしゃる中で、夏休みや、ちょっとした秋休みがありましたけど、やはり思春期なのでしょうか、お休みの後は不登校になる児童生徒がいるということで、その対応についてかなり神経を使っているというお話がありました。それから高校の対策については、高校生は市内の生徒だけではないので、安全面を重視して、自転車通学がとても多いので、そういった交通ルールについての話がありました。また高校生になると、地域の中で、例えば災害が起きた時などは、地域の私たち以上に頼りになります

よね。各地域で中高生を巻き込んで防災対策をして、地域の安全をみんなで守ろうという形を取らせていただいているようです。改めて茅ヶ崎市が子どもを守るということで、地域が見守っていきましょうというお話がありました。

また、警察の方からもお話があり、自転車やバイクの窃盗の数が本当に多くなっているとのことでした。その他に薬物や闇バイトの件もかなり報道されていますが、子どもたちがそこに関わっていることもあるようです。なかなか特定できるまで時間もかかりますが、やはり私たち地域の大人がきちんと子どもたちを見ていくというのが大事かなと思います。昔みたいに声をかけると危ない時もありますので、声かけというのはなかなか難しいのですが、なにかあったらすぐ警察に連絡をして対応していただくような形をとっていただければよいかなと思っています。

今、青少年問題協議会に大学生が2人参加してまして、自分の通学の時に子どもたちの見守りをするという話が出たので、とても素晴らしいと思います。そういう気持ちはとっても大事ですよね。子どもたちも、おじさん・おばさんに声をかけられるのと、お兄さん・お姉さんのような方から声をかけられるのとではまた違うと思いますので、そういう意味でも、これがうまく広がってくればいいなと思いました。

その他、同じく出席されていた松岡部長からなにか補足がありましたら是非お願いいたします。

○松岡教育推進部長

青少年問題協議会の話もございましたが、茅ヶ崎市で制定・宣言しております子どもを守る都市宣言につきまして、平成16年に宣言をして取組を進めているなかで、20年が経過いたしました。その宣言の内容について、その当時からかなり時代の変化がございますので、事務局の方で見直し案を検討しまして、またもう1回青少年問題協議会の方に提案を差し上げることが決まりましたので、御報告させていただきます。

○吉原議長

ありがとうございました。他に何かございますでしょうか。

○事務局

起草委員の選出、どうもありがとうございました。今後の会議の具体的な日程につきましては、今日御選出いただいた方々に改めて相談させていただいて実施をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、会議の関係なのですが、神奈川県社会教育委員連絡協議会の地区研究会が、令和6年11月2日の土曜日に海老名市文化会館で、令和7年2月4日火曜日に大磯プリンスホテルで開催予定になっております。海老名会場につきましては、沼上委員がすでに出席いただけるということで御了承いただいております。2月の大磯会場分について、どなたか委員1名と、あと事務局1名の参加を考えております。

もし希望者がいればこの場で選出をさせていただければと思っておりますが、いかがでしょうか。

○吉原議長

他にいらっしゃらなければ、私の参加でもよろしいでしょうか。もし他にどなたかいましたら、私は別枠での参加でも構いませんので、よければ事務局の方にお声がけをしてください。よろしく願いいたします。

○事務局

また後日、県から正式な開催要項が来ると思いますので、その際にまた皆様にも御連絡をさせていただきたいと思えます。

○吉原議長

ありがとうございました。

その他で1つ。先日子どもふれあいまつりもありましたが、もし今後教育委員会の中で行う事業や社会教育委員の関係してくるものがありましたら、お手数おかけしますが、是非お声をいただければありがたいです。自分自身がきちんアンテナを張ってなければいけないことあるのですが、情報提供をいただいて、そういう場面も作っていただけるとやりがいもありますし、少し考慮していただければありがたいと思えますので、是非よろしく願いいたします。

また、今回答申をまとめていくにあたって、新しく委員になられた徳永委員が入ってくださいました。障がいのある方を毎日見てくださいている学校の先生ということで、いままでとはまた違う視点を持った方に入っていたので、私たちの活動の中でそういう情報が増えるということはとてもありがたいと思っております。起草委員にもなってくださったので、たくさん意見をいただければと思えます。山本委員もそうですが、都合が悪い時はメールでも結構ですので、声を上げていただければ、それをいただきながらまとめていきたいと思えます。皆さんどうぞよろしく願いいたします。

城田委員、初めてお越しいただいて、いかがでしたでしょうか。

○城田委員

青少年育成推進協議会の活動自体が初めてなので、まだわからないことも多いです。ちょうど子育てをしているタイミングで教育委員をしまして、PTAや子ども会の活動に参加する機会はありませんでした。今になって初めてこういう世界に足を踏み入れていますので、勉強させていただきます。

○吉原議長

ぜひ今後もよろしく願いいたします。

小和田公民館の公民館運営審議会から来られました青木委員はいかがでしょう。

○青木委員

お話を聞いていて、皆さんとても色々な活動をしていらっしゃるなどと思って感心しておりました。今後もよろしくお願いします。

○吉原議長

この会議には様々な団体から選出された方が出席されています。皆さん気軽にお声を出していただければと思いますので、よろしくお願いします。

今日はPTAの方が御欠席ですが、また次回いらした時に自己紹介をいただいて、皆さんと一緒にやっていければと思います。

○徳永委員

よろしいでしょうか。現在当校は特色ある活動を行っていきまして、私は担任を持たずに、共生社会の担い手を育む活動や地域の特色ある教育活動を学校に取り入れたりするという、地域学校協働活動推進員のような役割をしています。

先ほどの「令和7年度関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会」の分科会での発表の中に共生社会の実現というテーマがあったので、もしよろしければ詳しく聞かせていただいて、参加を検討できないかと思っています。

○吉原委員

参加というのは茅ヶ崎市の社会教育委員としてという形になりますでしょうか。

○山本委員

県と市で教育委員会の組織が違うことから、県立の学校と地域との繋がりというのが難しいということが一般的によく言われています。県立の学校だけど地域とこんな形で繋がっていますよという発表になれば、1つの面白い事例になるのではないかなという風に思っています。

○事務局

詳細は県に確認してみなければどうなるかわかりませんが、この茅ヶ崎市社会教育委員の会議として発表するということになりますので、この場で御承諾いただけましたら県の担当者へ聞いてみることは可能です。もし既に他の市町村で枠が埋まっている等の状況ですと、希望しても難しい可能性はございます。

○吉原議長

「共生社会の実現」は第4分科会になるのですが、年齢、性別、障がいの有無、文化的

背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現に向けた社会教育の役割について考える、というものになります。学校の中では当然やってらっしゃるものだと思うので、せっかくそういう御希望があって、意欲的にやっていただけるのであれば、検討していきたいです。

ただ、茅ヶ崎市の社会教育員の活動としてお話をさせていただく形となるので、今まであまり私たちが手をつけていなかった分野でもありますので、その辺りを県の方の事務局の方に確認していただいて、もし認めていただけるのであれば茅ヶ崎市として発表の場を頂戴するということになりますでしょうか。

○加藤委員

これを承認するとなれば、ところどころで出来た資料を各委員でチェックしていく形になりますでしょうか。大会までに3回ぐらいしか会議がないので、事前に資料を共有していただき、意見も交えながら、会議の場で承認していく形になりますでしょうか。

○伊勢田社会教育課長

今は発表できるかどうかは仮定の話なので、そこは決まり次第、徳永委員とも話をしていきたいと思います。社会教育委員としての発表となりますので、今加藤委員がおっしゃったように、委員の皆様からも意見もらった中で発表していただくことが必要かと思いません。よろしくお願いたします。

○吉原議長

ありがとうございました。

それでは、本日の議題につきましては全て終了いたしましたので、これをもちまして令和6年度社会教育委員の会議の臨時会を閉会といたします。皆様、ありがとうございました。